

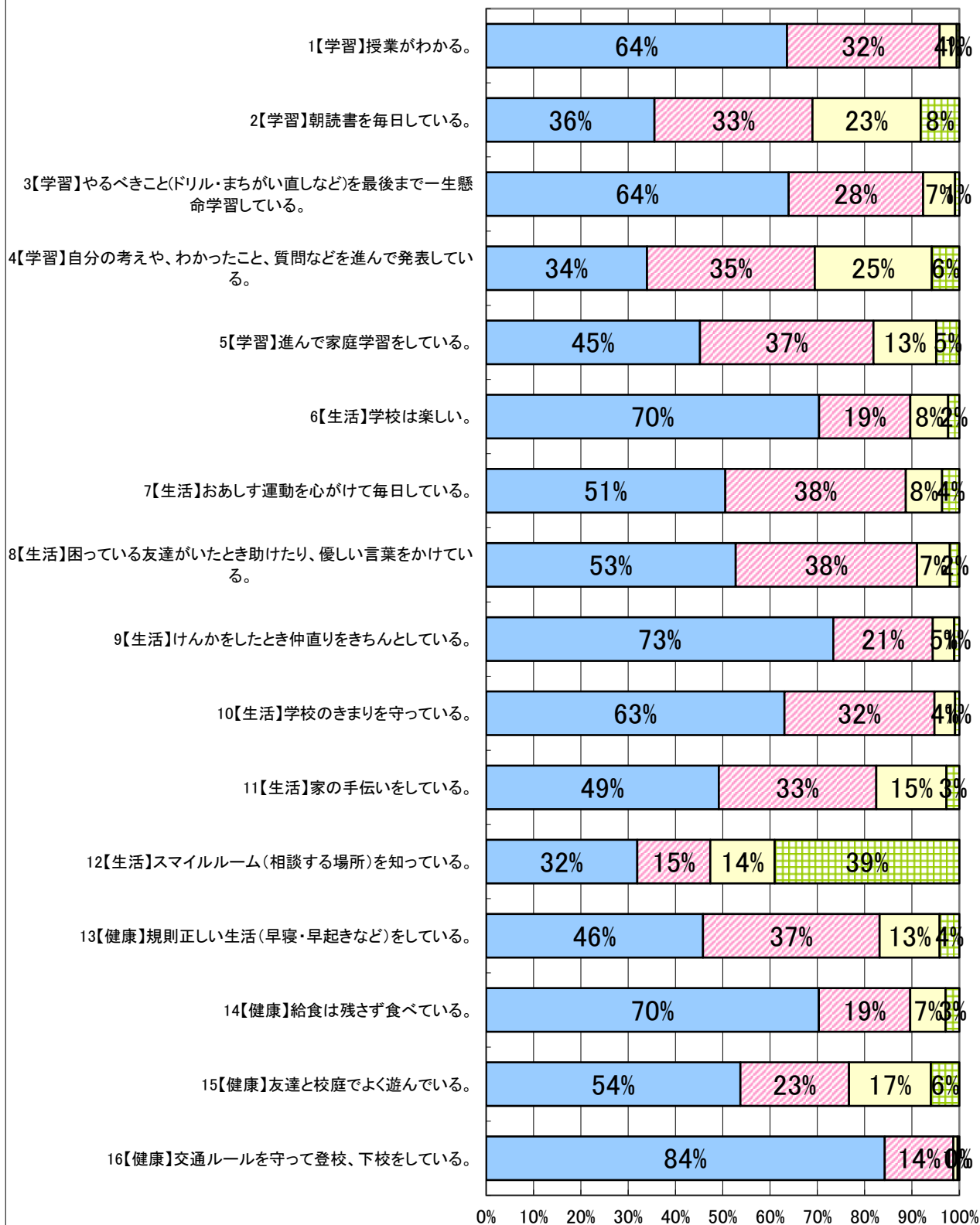
項 目	アンケート結果から	改善策等
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「授業がわかる」の設問で、96%が肯定的な回答で前年より向上しています。「新学習指導要領への対応と学習活動の充実」を掲げ、授業改善に努めてきた効果と考えます。 ・保護者アンケートでは、「基礎基本が身につけていない」と19%回答していることから、個に応じた指導を充実させていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、授業の中で体験活動を重視し、外部人材や学校図書館、ICTを活用した、わかる授業の実現に努めていきます。 ・複数教員の指導や専科教員の指導により、きめ細かな指導に努めていきます。 ・個に応じた指導の実現に向け、ドリル、ワークシートによる補足的な学習に加え、デジタル教材の活用を図っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「自分の考えや意見などを進んで発表できる」の設問で69%が肯定的な回答です。一般的に学年が上がるにつれ発表が少なくなる傾向がありますが、6年生でも65%の肯定的な回答です。「伝え合う力の育成」をめざし言語活動を充実させてきた成果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業で、ペア、グループ、全体など、様々な学習形態で伝え合う場面を設定し、考えを深めていく授業を推進していきます。 ・外国語活動や外国語科を含め、人との関わりを重視し、さまざまな教科で「伝え合う力の育成」に努めていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「進んで家庭学習をしている」の設問で82%が肯定的な回答、保護者アンケートでは、「平日の家庭学習時間」は30分以上が44%でした。昨年度とほぼ同様の回答ですが、学年が上がるにつれ、家庭学習時間が増えています。家庭の協力による成果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年では、自主学習を奨励し、家庭学習の工夫についての情報を懇談会等で共有していきます。 ・学ぶ意欲の向上を目指し、家庭学習やステップアップ教室、夏季算数教室に加え、ICTを活用した個別学習も充実させていきます。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「学校は楽しい」の設問で90%が肯定的な回答、保護者アンケートでは、「子どもは学校が好き」の設問で92%が肯定的な回答と、昨年度とほぼ同様の回答です。本年度も学習指導や学校行事を見直し、子どもの関わりを重視した活動を行ってきた成果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を大切にし、互いを認め合い、特性や個性を發揮できるような学校行事や学級活動の工夫に努めていきます。 ・異学年交流学習や児童会活動を積極的にを行い、人との関わりを重視した活動を充実させていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「おあしす運動を心がけている」は、89%が肯定的な回答です。「おあしす運動」という用語よりも「あいさつ日本一」を合い言葉として定着しています。昨年度とほぼ同等ですが、日常生活で高学年児童が率先して行ってきた成果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員も含め自ら率先して挨拶に取り組み、気持ちよい挨拶が交わるよう学校全体の雰囲気として定着させていきます。 ・PTAや青少協、中学校区で連携し、挨拶の重点指導週間などを設けて、校内・校外でも取り組んでいきます。

	<p>友達関係（いじめ対策）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「仲直りをしている」の設問では、94%が肯定的な回答、保護者アンケートでは、「友達と仲良く協力している」の設問で94%が肯定的な回答と、昨年度とほぼ同様の回答です。その都度、問題行動やいじめの解消に努め学年や全体で取り組む組織的対応を心がけている成果であると考えます。 ・スマイルルーム（教育相談の場所）を知っている児童が、47%でした。スクールカウンセラーや養護教諭の役割等が、低学年に周知されていないようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの悩みは学校だけでは見えないことも多いと考えますので、今後も家庭と連携を図っていきます。 ・課題が生じた場合は、初期対応を丁寧にして、学年及び学校体制で取り組んでいきます。 ・「いじめは絶対に許さない」という教職員の共通理解のもと、教育相談やアンケート、Q-Uテストを活用し、早期発見・早期対応に努めていきます。 ・教育相談活動を充実しながら、子ども悩みに寄り添い、組織的に対応していきます。
	<p>体育・健康教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「校庭でよく遊ぶ」の設問では、昨年度の81%から77%に減少しており、学年が上がるにつれて低い数値を示しています。高学年では休み時間の委員会活動なども、一因として考えられます。 ・保護者アンケートでは、「よく運動していない」と回答した保護者は23%でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の指導を見直し、さまざまな領域の運動に触れる授業に努めていきます。 ・風の子タイムや長昼休みに加え、異学年交流や委員会活動を通して外遊びの機会が増えるようにしていきます。
<p>健康・安全指導</p>	<p>事故防止や対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「交通ルールを守っている」の設問では、99%が肯定的な回答です。本年度の重大な交通事故は0件でした。 ・保護者アンケートでは、「安全で安心できる学校づくりに努めている」の設問では、97%が肯定的な回答です。校内で起きた怪我を保護者に確実に連絡することを心がけているからではないかと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止、不審者対応として、毎朝、教職員による朝の登校指導を行っておりますが、今後も継続して見守りを実施していきます。 ・地域や関係団体との連携を進めていきます。 ・事故やけがについては、状況確認と経過観察等、丁寧に対応していきます。 ・引き続き、すくすくメールによる情報提供を適宜行っていきます。
	<p>教育環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、「校舎内・校庭はきれいである」の設問では、肯定的な回答が減少し91%でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に、安全点検と清掃活動を重視して、樹木剪定や修繕を確実に行っていきます。 ・引き続き、PTAやくすのきサポーターズと連携して、ボランティア清掃などの活動を充実させていきます。

全体的な傾向につきましては、ほぼ昨年同様の傾向でした。しかし、多くの項目で肯定的意見の減少傾向があり、このことが課題であると感じております。

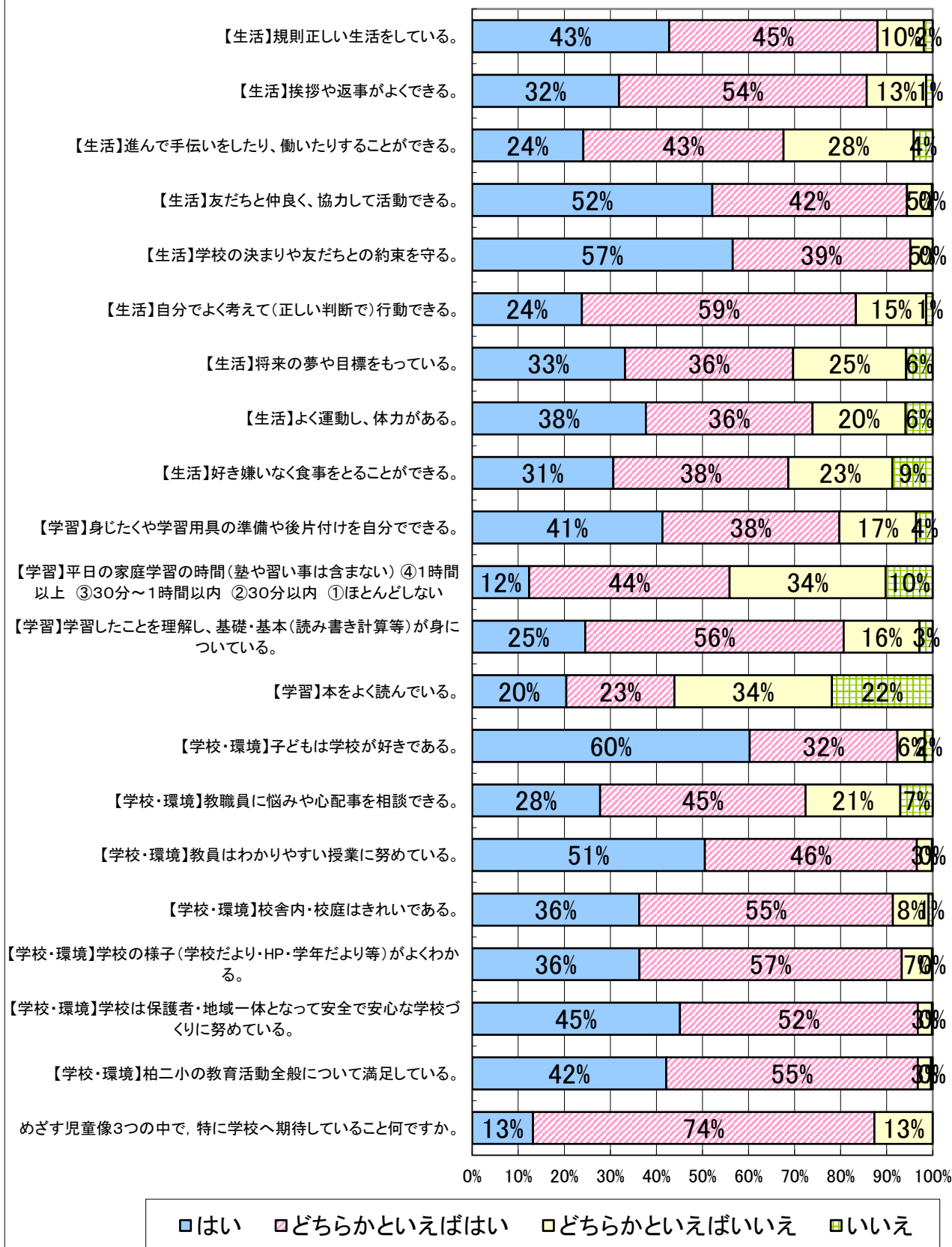
また、本年度より設定した「学校に期待する『目指す児童像』」ですが、「かしこい子」が13%、「優しい子」が74%、「たくましい子」が13%でした。学校教育では、すべての児童像を重視しておりますが、「優しい子」の育成に期待を寄せていることが分かりました。これからも学力、体力の向上にも努めて参りますが、これまで以上に、豊かな心を育む教育を重視していきたいと考えます。今後も、本校の教育活動へ一層の御理解と御協力をお願いいたします。

柏第二小児童アンケート結果項目別

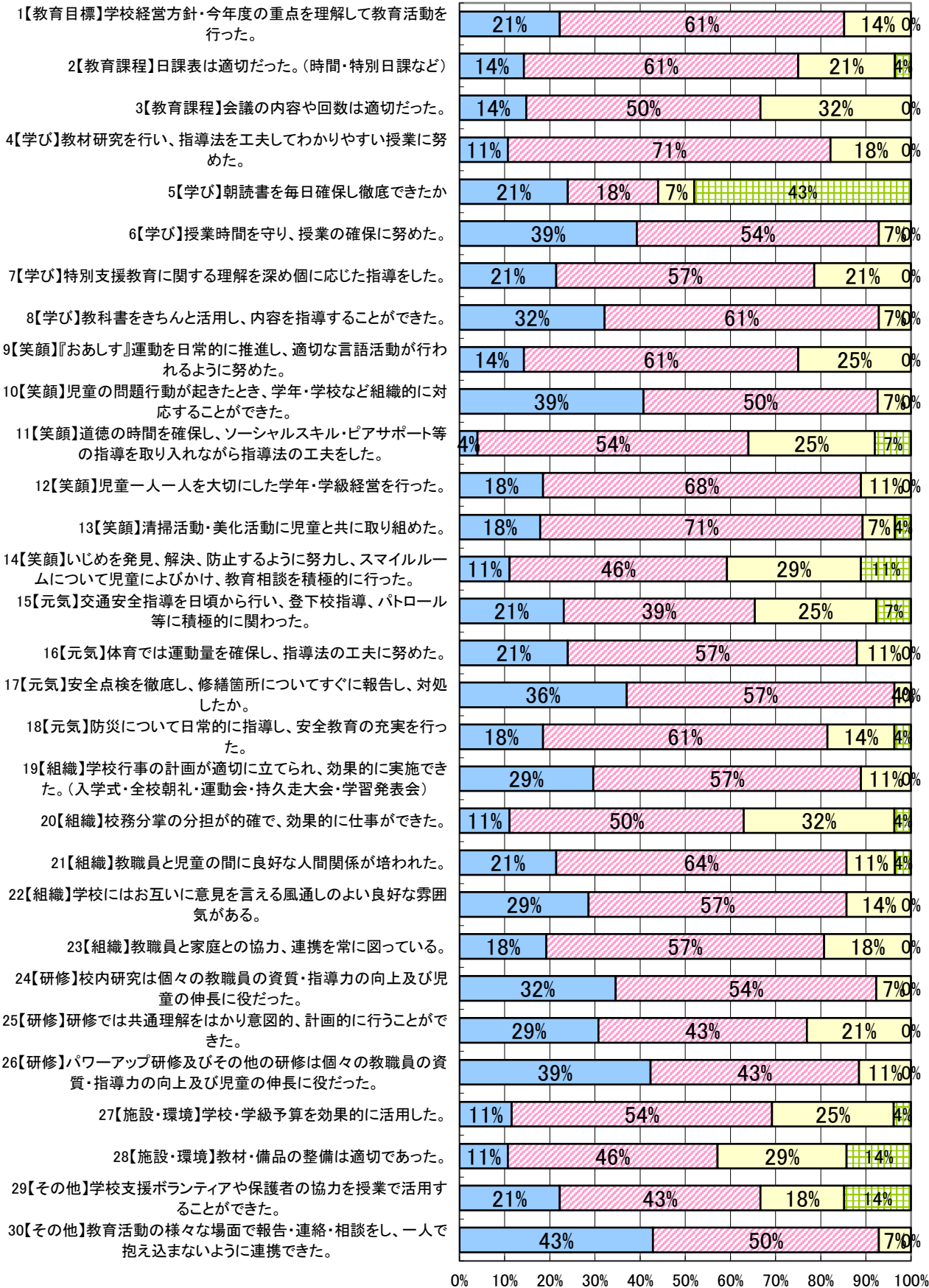


あてはまる
 まあまああてはまる
 あまりあてはまらない
 あてはまらない

柏第二小保護者アンケート結果項目別



柏二小 教職員アンケート結果項目別



とてもよい
 よい
 どちらかといえばよい
 どちらかといえばよくない